

第五次塩尻市総合計画  
第3期中期戦略

行政評価(事中評価)  
実施計画の編成(ソフト事業)  
【令和3~5年度】

— 理事者評価・査定結果 —



令和2年11月19日  
企画政策部経営戦略課

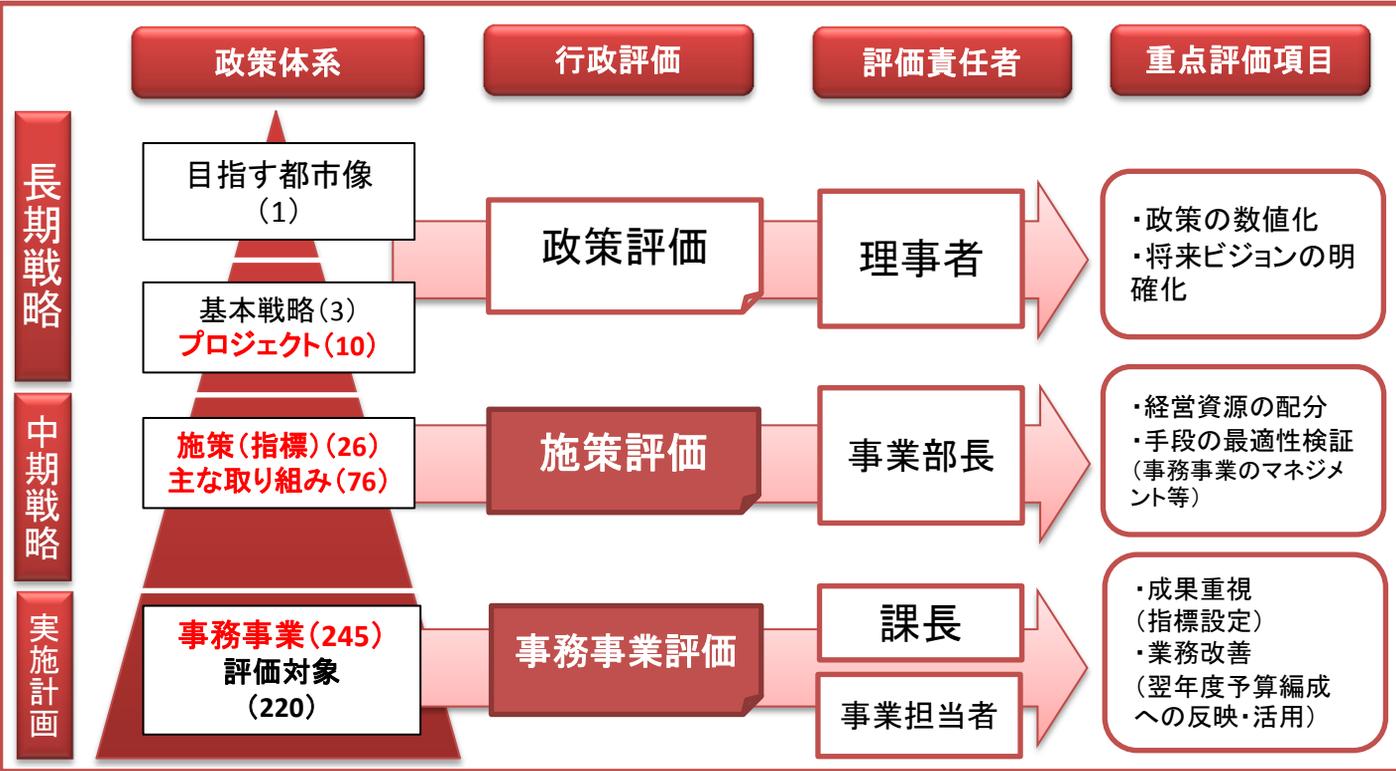


# 第1 第五次総合計画と行政評価

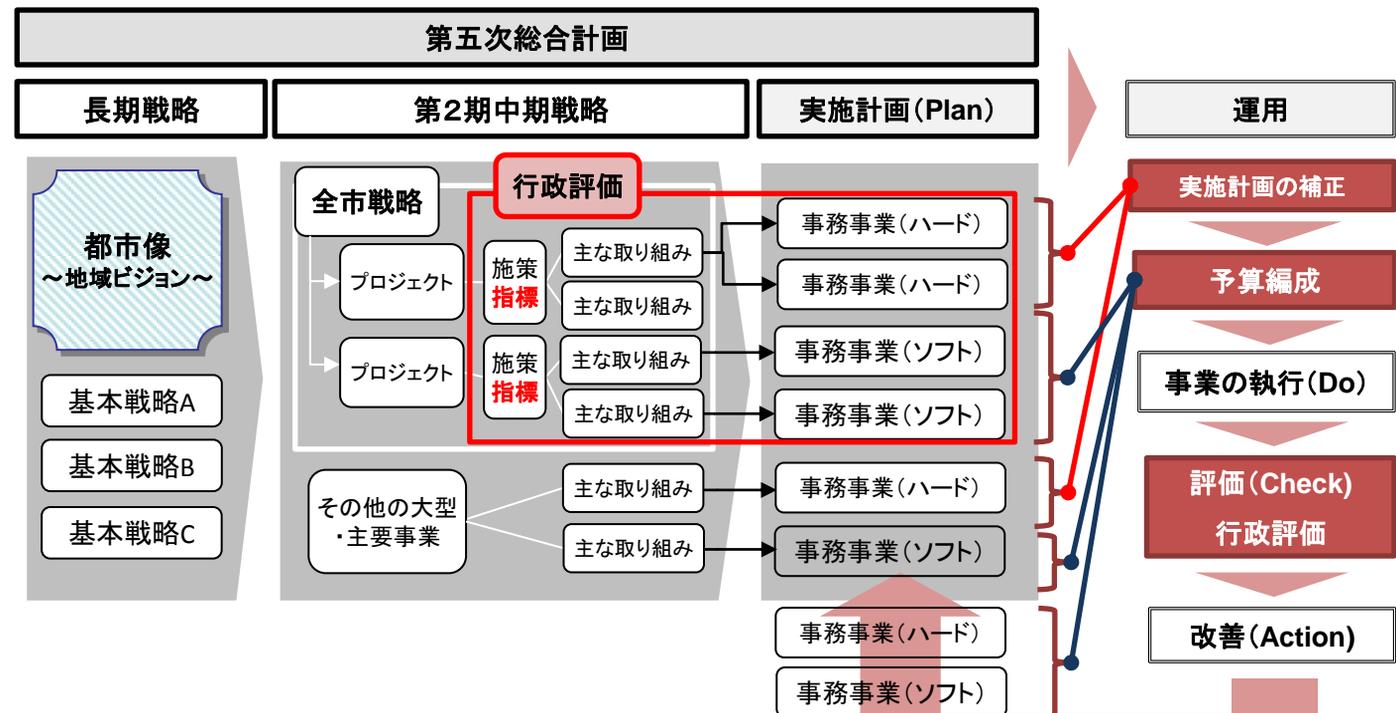
行政評価は、施策評価と事務事業評価で構成し、第2期中期戦略に位置づけられる26施策の指標の進行管理を目的とします。

施策評価は、評価責任者を事業部長とし、経営資源の最適配分を行う観点から、各施策を構成する事務事業の最適化マネジメントを行うことなどを目的に評価を行います。

事務事業評価は、評価責任者を課長とし、成果重視に基づく評価指標の分析、業務改善案を検討し翌年度の予算編成に反映させることなどを目的に評価を行います。



行政評価の対象は、全市戦略に位置づけられている施策評価とそれに関連する事務事業評価とします。行政評価の結果に基づき、ハード事業は実施計画の補正で対応し、ソフト事業は予算編成で対応します。



## 第2 理事者査定・評価（第2次評価・査定）の概要

### 1 評価対象

- ◆ 施策評価は全26施策を対象として実施しました。
- ◆ 複数の事業部で構成する施策については、各事業部でそれぞれ施策評価を実施したため、48の施策評価シートの評価を行いました。
- ◆ 第3期中期戦略の施策体系の再編に合わせて、21の新規事業提案があり、同時に評価・査定を行いました。
- ◆ 理事者評価(第2次評価)では、重点事業となる67事業の評価をお願いするものです。

部等名	施策 評価数	事務 事業数	評価 対象	新規 提案	理事者 評価査定 対象	うち ハード事業
総務部	2	12	11	0	2	0
企画政策部	5	22	19	8	6	0
市民生活事業部	4	10	8	2	6	4
健康福祉事業部	6	34	27	2	7	0
産業振興事業部	10	49	48	0	12	3
建設事業部	7	30	26	2	8	6
市民交流・生涯学習部	6	31	29	2	8	4
こども教育部	6	47	43	4	14	8
水道事業部	2	10	9	0	4	4
合計	48	245	220	21	67	29

### 2 評価結果の概要

#### (1) 総合評価

- ◆ 評価対象となった事務事業については、4段階で総合評価を行いました。
- ◆ 「A:計画どおりに事業を進めることが適当」と評価された事業は全体の18.6%であり、第3期中期戦略における施策体系の再編に合わせて、80%以上の事務事業が、事業の進め方や事業規模等の見直しの検討が必要となる評価結果としました。

総合評価	事務 事業数	割合(%)
A:計画どおりに事業を進めることが適当	41	18.6
B:事業の進め方の改善の検討	52	23.7
C:事業規模・内容・主体の見直し検討	114	51.8
D:事業の統合・休廃止の検討	13	5.9
合計	220	100.0

## (2) 今後の方向性

- ◆ 総合評価をベースに、「成果の方向性」と「コスト投入の方向性」から事業の「今後の方向性」を7分類で評価しました。 ※ 「コスト投入の方向性」については、包括予算の各事業部への配分に活用
- ◆ コスト投入を**拡大とした事業**(①)は**68事業(30.9%)**に対し、**縮小・皆減とした事業**(③、④、⑥、⑦)は合わせて**78事業(35.4%)**とし、**重点施策に係る新規提案事業**を積極的に採用することにより、経営資源の有効配分にメリハリをつけて評価しました。
- ◆ コスト維持とした事業についても、事業の進め方の改善を図るなど、成果の拡充を求める事業(②)を36事業(16.4%)としました。

成果の方向性	拡充	×	30 ④ (13.6%)	36 ② (16.4%)	68 ① (30.9%)
	維持	×	31 ③ (14.1%)	38 ⑤ (17.3%)	×
	縮小	×	3 ⑥ (1.4%)	×	×
	休廃止	14 ⑦ (6.3%)	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 第3 企画政策部長評価・査定（第1次評価・査定）の考え方

- ◆ 第1次評価・査定にあたっては、現在策定を進めている**第3期中期戦略の施策体系の再編**を踏まえて、**施策全体のバランスを鑑み**ながら、特にコスト投入の方向性については、**提案された新規事業や改革・改善案で成果の拡充が期待できる施策に対して、重点的に財源の配分**を行いました。
- ◆ その結果、**第3期中期戦略全体**において、令和3年度は、令和2年度当初予算と比較し、Afterコロナ施策提案枠及びShiociety5.0推進事業枠(以下「特別枠」という。)を除いた**一般財源ベースでは、87,000千円余の増額配分**となりました。そのため、第3期中期戦略期間中(令和3~5年度)の**3カ年で、一般財源ベースで約260,000千円の増額**となりますが、この財源については、同時に査定をした**実施計画(ハード事業)の一般財源枠より3カ年で418,000千円余を捻出した**ものです。
- ◆ また、「**特別枠**」は**当初100,000千円**を見込んでおりましたが、デジタル技術による社会変革の進展や、Afterコロナの「新たな日常」において市民生活や地域経済の安定を確保する観点から、**217,600千円余と積極的に財源配分**を行いました。**不足する約118,000千円**については、上記の**実施計画(ハード事業)の一般財源枠より確保し、Afterコロナにおける中長期的な支援の継続**を見込み、**3カ年で約40,000千円を留保した**ものです。

◆ **「基本戦略A 子育て世代に選ばれる地域の創造」**では、タブレット端末の導入による保育園のICT環境の整備を推進するため、「安心して子どもを預けられる環境の充実」施策に**特別枠として配分**するとともに、第3期中期戦略から新たな行政課題として、子どもの貧困対策などの充実を図る**「子育て家庭へのきめ細やかな支援」**施策についても、**同様に重点配分**をしました。

また、With/Afterコロナ期において推進しているGIGAスクール構想をベースに、教育分野におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進する観点から、「**きめ細かな支援による平等な学習機会の提供**」施策などに**重点的に財源を配分**したことなどにより、**戦略全体では、特別枠を含めた一般財源ベースで62,300千円余の増額配分**となりました。

◆ **「基本戦略B 住みよい持続可能な地域の創造」**では、Afterコロナを見据えて、製造業の経営革新に向けた支援の充実を図る**「製造業・ICT関連産業等の振興」**施策や、域内外からの観光需要の喚起策を盛り込んだ**「観光の振興」**施策に**特別枠として重点配分**するとともに、広域連携による塩尻型ワークの強化を図るため、「**多様な働き方の創出**」施策にも同様に**重点配分**しました。

また、令和3年度から稼働する総合体育館のランニングコストを見込んだ**「文化・スポーツを通じたにぎわいの創出」**施策や、新たな地域公共交通としてAIデマンドバスの運行実証に取り組む**「コンパクトシティの推進(持続可能なまちづくり)」**施策についても、**一般財源ベースで財源を配分**しました。

一方で、「**森林資源の多様な活用の促進**」施策については、森林環境譲与税や地域電力事業による収益等の財源を見込んだことから、**一般財源ベースでは減少**となりましたが、**戦略全体では、特別枠を含めた一般財源ベースで、220,800千円余の大幅な増額配分**としました。

◆ **「基本戦略C シニアが生き生きと活躍できる地域の創造」**では、「**健康増進の推進**」施策においては、検診方法や自己負担額の見直しなどにより、**一般財源ベースでは減少**となりましたが、**新型コロナウイルス等の感染症対策費を特別枠として配分**しました。一方で、「**地域包括ケアシステムの構築**」施策については、特別会計において介護予防事業や介護人材の確保に向けた取り組みの充実を図るため、**事業費ベースでは増額**となり、**戦略全体では、事業費ベースで18,300千円余の増額、特別枠を含めた一般財源ベースで10,300千円余の減額**となりました。

◆ **「基本戦略を包括し機能的に推進するプロジェクト」**では、広報を含めた市民向けのプロモーションの強化を図るため、「**「塩尻」をともに創る誇りや愛着の醸成(内部コミュニケーション)**」施策については、**事業費ベースで増額**としました。本年度から着手している塩尻型MaaSの推進、森林グランドサイクルの構築に向けた官民連携事業や自治体DXをスピード感を持って推進するため、「**行政機能の生産性と住民サービスの向上**」施策については、**特別枠として重点的に財源配分**を行ったことなどから、**戦略全体では、特別枠を含めた一般財源ベースで31,900千円余の増額配分**としました。

◆ **会計年度任用職員(嘱託員、臨時職員)を増員する提案も多数ありましたが、人件費が増加傾向で推移し、義務的経費が増額する中において、真に必要とされる提案のみを認め、基本的には現行体制をベースとして事業を推進することとしました。**

# 第3期中期戦略体系別 実施計画ソフト事業比較表

単位：千円

基本戦略	PJ No.	重点プロジェクト	施策 No.	施策	R2当初予算比較		(A)のうち Afterコロナ 施策提案 (B)	(A)のうち Shiociety5.0 推進事業 (C)
					事業費 増減	一般財源 増減(A)		
A 子育て世代に選ばれる地域の創造	1	子どもを産み育てる環境の整備	1	出産・子育てサポート体制の充実	5,710	5,847	0	0
			2	安心して子どもを預けられる環境の充実	▲ 13,834	38,184	0	27,717
			3	子育て家庭へのきめ細かな支援	14,235	7,448	810	5,269
	2	教育再生による確かな成長の支援	1	特色ある教育による知・徳・体の向上	▲ 9,372	▲ 2,095	0	3,876
			2	きめ細かな支援による平等な学習機会の提供	16,796	12,968	17,060	0
	小計					13,535	62,352	17,870
B 住みよい持続可能な地域の創造	3	産業振興と就業環境の創出	1	製造業・ICT関連産業等の振興	66,867	73,947	92,800	0
			2	地場産業の振興	▲ 2,073	▲ 191	0	0
			3	農業の再生	▲ 2,972	▲ 3,909	0	0
			4	多様な働き方の創出	9,051	12,896	19,500	0
	4	地域資源を生かした交流の推進	1	観光の振興	16,337	16,337	10,000	0
			2	文化・スポーツを通じたにぎわいの創出	83,229	83,229	2,500	0
	5	域内循環システムの形成	1	地産地消型地域社会への転換	▲ 1,739	▲ 1,739	0	0
			2	森林資源の多様な活用の促進	▲ 4,795	▲ 7,740	0	0
	6	危機管理の強化と社会基盤の最適活用	1	危機管理・防災対策の推進	1,855	1,035	0	0
			2	都市インフラの最適化	15,195	24,455	0	0
			3	コンパクトシティの推進(持続可能なまちづくり)	34,817	22,490	0	0
	小計					215,772	220,810	124,800
C 活躍できる生き生きとした創造	7	生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築	1	社会や地域で活躍できる場の創出	752	752	0	0
			2	生涯を通じた学びと知識や経験の継承	▲ 150	▲ 150	0	0
	8	健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活継続	1	健康増進の推進	▲ 3,457	▲ 3,144	4,155	0
			2	地域包括ケアシステムの構築	21,183	▲ 7,793	0	0
小計					18,328	▲ 10,335	4,155	0
基本戦略を包括し機能的に	9	地域ブランド・プロモーション	1	認知度向上や地域イメージの浸透(外部コミュニケーション)	▲ 12,215	▲ 2,689	0	0
			2	「塩尻」をともに創る誇りや愛着の醸成(内部コミュニケーション)	805	▲ 1,595	0	0
	10	地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり	1	地縁コミュニティの活性化	1,916	1,916	0	0
			2	知恵の交流を通じた人づくりの場の提供	5,907	5,907	0	0
			3	行政機能の生産性と住民サービスの向上	53,329	28,410	17,000	16,900
	小計					49,742	31,949	17,000
合計					297,377	304,776	163,825	53,762

※一般財源増減額(A)からAfterコロナ施策提案(B)及びShiociety5.0推進事業(C)の金額を除いた一般財源の増減総額：(A)-(B)-(C) = **87,189千円**

## 第4 Afterコロナ施策提案一覧

- ◆ Afterコロナ施策提案制度は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止・感染拡大による影響を受けている地域経済や住民生活の支援、「新しい生活様式」の定着のための取り組みなど、本市の実情に応じたAfterコロナ施策に対し、包括予算制度と連動させ、事業費相当額を配分することにより、事業を確実に推進させるための制度として創設しました。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症収束後のV字回復及び新しい生活様式(Afterコロナ)に対応するための先進的な提案として**12件を承認**しました。

No.	第3期 施策体系	事業名	事業内容	担当課	事業規模 (千円)
1	A-1-3-2	こどもの未来応援事業	家庭の様々な事情に加え新型コロナの影響により、家庭でひとりで過ごす子どもに食事の提供や学習支援を行う団体に対し、運営経費や感染症予防対策経費の補助を行う。	家庭支援課	810
2	A-2-2-2	GIGAスクール推進事業 (小中学校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクールを推進するため、小中学校にICT支援員を配置する。</li> <li>・臨時休校等の緊急時に、家庭でも学習を継続できるようWi-Fi環境が無い児童生徒を対象にモバイルWi-Fiルーターを貸与する。</li> <li>・学習の支援と基礎学力の定着を図るため、中学校3年生を対象に学習アプリを無料で利用できる環境を整備する。</li> </ul>	教育総務課	17,060
3	B-3-1-1	地域企業経営革新プロジェクト 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナによる不況に耐え得る経営基盤の強化・安定化を図ることを目的に、新事業展開や新分野進出等にチャレンジするための基礎的・専門的知識の習得セミナーや先進企業視察を開催する。</li> <li>・市内中小製造業が抱える課題を解決するため、専門人材による伴走支援を実施する。</li> </ul>	産業政策課	19,000
4	B-3-1-1	中小企業融資あっせん事業	市内中小企業の安定した経営を支援し、地域経済の向上と雇用の確保を図るため、中小企業が事業等で必要とする資金を金融機関から低利で融資が受けられるよう、市があっせんする。	産業政策課	68,800
5	B-3-1-2	企業立地促進事業	コロナ禍における出勤制限を機にテレワークが急速に普及したことにより、都市部から地方のオフィスへの分散が進むことが期待されるため、市内へのサテライトオフィスへの入居及び整備に係る経費を支援する。	産業政策課	5,000
6	B-3-4-1	新規ビジネスモデルチャレンジ 支援事業	売上が減少した事業者を対象に、AfterコロナにおいてV字回復ができるよう、既存のビジネスモデルの変更や他事業者とコラボレーション等で新規事業を立ち上げるスタートアップを支援する。	地方創生推進課	1,500
7	B-3-4-2	テレワーク推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Afterコロナを見据えて広域連携による塩尻型テレワークを構築し、柔軟な働き方ができるような環境を整備する。</li> <li>・移住希望者や市内への起業者を誘致するため、サテライトオフィスを整備する。</li> </ul>	官民連携推進室	18,000
8	B-4-1-1	観光振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな生活様式における観光スタイルを構築するため、バーチャル観光コンテンツや体験コンテンツの開発など、観光プロセルのデジタル化を行う。</li> <li>・Afterコロナを見据えて、地域内外から新たな観光需要を喚起できるような観光事業モデルを構築をする。</li> </ul>	観光課	10,000
9	B-4-2-1	平出博物館運営事業	来館が制限される時期において、社会見学の代替手段として小学校向けにオンライン授業を開催する。	社会教育課	2,500
10	C-8-1-2	感染症予防等対策費	感染流行に備え、消毒液、マスクを備蓄するとともに、感染予防について市民への啓発を図る。	健康づくり課	4,155
11	包-10-3-4	塩尻型MaaS構築事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Afterコロナに最適な地域公共交通の形成と利便性向上を図るため、他の交通モードと組み合わせたMaaSシステムを構築する。</li> <li>・安全性を最重視した自動運転の実装を目指した実証実験を実施する。</li> </ul>	官民連携推進室	9,500
12	包-10-3-4	官民連携地域活性化推進事業	Afterコロナにおける観光需要回復を見据え、地域資源の磨き上げを行うとともに、官民連携で整備した奈良井宿の観光拠点を活用したイベントの開催や戦略的な情報発信を行う。	官民連携推進室	7,500
<b>提案合計</b>					<b>163,825</b>

# 第5 Shiocity5.0推進事業提案一覧

◆ Shiocity5.0推進事業提案制度は、ICTの活用やアウトソーシングによる業務改革の提案に対し、包括予算制度と連動させ、初期投資額相当分を配分することにより、全庁的に業務改革を推進し、「スマートな行政経営体」を構築するための制度として、令和元年度創設しました。

◆ 10件の事務について改善案の提案があり、事中評価においてその投資効果を検証し、**全庁的に業務の効率化が見込まれるものや職員工数の削減が見込まれるものとして7件を採用しました。**

No.	事業名	対象プロセス	担当課	必要経費(千円)	企画政策部長評価結果	重要評価事業	第1次評価コメント
1	財政管理事務費	財務書類の作成・分析	財政課	3,440	採用		提案のとおり、実施を認める。業務内容を精査し全庁的な業務の効率化を推進すること。
2	財務会計事務スマート化事業	請求書の電子化	財政課	700	採用		提案のとおり、実施を認める。業務内容を精査し全庁的な業務の効率化を推進すること。
3	庁内向けDX推進事業	RPAシナリオ及びマクロ管理、レスポンスの高い情報共有	情報政策課	12,760	採用		提案のとおり、実施を認める。業務内容を精査し全庁的な業務の効率化を推進すること。
4	生活保護被保護者訪問支援システム導入	生活保護被保護者への訪問調査等	福祉課	4,063	採用	○	システム導入を認める。現行の業務プロセス全体の見直しも併せて行うこと。
5	体育施設整備事業	社会体育施設のデータ管理化	スポーツ推進課	1,839	不採用		公共施設マネジメントシステムの導入は、施設情報のシステム登録に手間がかかる等課題があるためR3年度で導入せず、公共施設マネジメント推進室での検討事項とする。
6	図書館サービス基盤整備事業	新図書館システムへの新機能追加	図書館	2,000	不採用		図書館システムへの新機能追加は、認めない。現状の業務プロセスの見直しを行うこと(電子決裁システムの活用、決裁区分の見直しなど)。RPA導入については、内製にて対応すること。
7	保育所運営費(保育園ICT推進事業)	保育士の事務処理全般	こども課	27,717	採用	○	・提案内容の実施は認めるが、予算編成までに必要経費を精査すること。 ・効果検証を含めたスケジュールを立てるとともに、全保育園でタブレット端末が効果的に活用できるようルールや仕組みづくりを進めること。
8	家庭支援推進事業	家庭児童相談	家庭支援課	5,269	採用	○	相談支援システムの導入を認める。関係課で情報を共有できるよう、運用に向けてのルールづくり、体制の構築を進めること。
9	総合型校務支援システム導入事業(小中学校)	校務用システムの利用	教育総務課	3,876	採用	○	総合型校務支援システム導入を認める。塩尻市情報教育推進委員会を中心に、ICT活用による職員の負担軽減、児童生徒の学力向上等について、明確なKPIを設定するとともに、教育DXの将来構想を検討すること
10	農地流動化促進事業	農地利用最適化の推進	農業委員会	990	不採用		今年度試行導入したタブレットを使用し効果を確認したうえで、拡大を行うこととし、R3年度での実施は認めない。
提案合計				62,654			
採用合計				57,825			

## 第6 理事者評価・査定結果一覧（ハード事業分含む）

No.	第2期中期戦略				事務事業名	担当課	評価の視点			総合評価	今後の方向性			第3期中期戦略				理事者評価コメント
	基本戦略	プロジェクト	施策	取組			妥当性	有効性	効率性		成果	コスト	記号	基本戦略	プロジェクト	施策	取組	
1	B	6	1	2	消防施設整備費（ソフト事業）	危機管理課	④	②	④	C	拡充	拡大	①	B	6	1	2	・第1次評価のとおり実施すること。
2	B	6	4	5	徴収事務諸経費	税務課	③	②	③	C	拡充	拡大	①	D	10	3	2	・第1次評価のとおり実施すること。
3	B	3	4	2	テレワーク推進事業	官民連携推進室	④	②	③	C	拡充	拡大	①	B	3	4	2	・本地域の労働者の特性や質の高さを踏まえたモデル事業として発展してきていると評価できる。 ・塩尻型テレワークモデルとして国等の制度スキームを活用しながら、戦略的に事業を展開をしていくこと。
4	B	6	4	2	総合計画策定事業	経営戦略課	③	②	②	C	拡充	拡大	①	D	10	3	2	・今後の政策を検討するうえでデータ分析は極めて重要である。 ・市が保有している統計やデータを、ビックデータとして活用するよう検討するとともに、オープンデータとして民間等に活用してもらう手法についても企画政策部内で検討を進めること。
5	-	-	-	-	庁内向けDX推進事業	情報政策課	-	-	-	-	-	-	-	D	10	3	3	・業務の高度化・効率化だけでなく、市民生活の向上につながるサービスを含めて、全体のDXビジョンを策定し、内外に情報発信すること。 ・自治体DXの推進にあたっては、若手職員も入れた推進チームを設置し進めること。
6	-	-	-	-	塩尻型MaaS構築事業	官民連携推進室	-	-	-	-	-	-	-	D	10	3	4	・MaaSは中心市街地の活性化に機能する可能性を秘めているため、松本市等との連携を含めて広域圏で、実証等を進めるよう検討すること。
7	-	-	-	-	官民連携地域活性化推進事業	官民連携推進室	-	-	-	-	-	-	-	D	10	3	4	・ダイニングアウトの実施は認めるが、奈良井のまちづくりは、市が中心になるのではなく、区等が中心になって進めること。
8	-	-	-	-	新規事業開発スキーム構築事業	官民連携推進室	-	-	-	-	-	-	-	D	10	3	4	・大変面白い取り組みなので、総務人事課と連携をし、新規事業開発と人材育成を両立できる仕組みとなるよう推進すること。
9	-	-	-	-	新最終処分場事業	生活環境課	-	-	-	-	-	-	-	B	6	2	3	・第1次評価のとおり実施すること。 ・新たに最終処分場を整備するのか、整備せずに全量民間業者へ委託するのか判断する根拠を示すこと。
10	-	-	-	-	霊園整備事業	生活環境課	-	-	-	-	-	-	-	B	6	2	3	・第1次査定のとおり実施すること。
11	包括	10	1	1	コミュニティ活動支援事業	地域振興課	③	③	③	C	拡充	拡大	①	包括	10	1	1	・第1次評価のとおり実施すること。
12	-	-	-	-	北小野支所管理運営事業	地域振興課	-	-	-	-	-	-	-	包括	10	3	2	・第1次査定のとおり実施すること。 ・取得する用地に隣接する道路を通行しやすく整備することについて検討すること。
13	-	-	-	-	宗賀支所管理運営事業	地域振興課	-	-	-	-	-	-	-	包括	10	3	2	・第1次査定のとおり実施すること。

No.	第2期中期戦略				事務事業名	担当課	評価の視点			総合評価	今後の方向性			第3期中期戦略				理事者評価コメント
	基本戦略	プロジェクト	施策	取組			妥当性	有効性	効率性		成果	コスト	記号	基本戦略	プロジェクト	施策	取組	
14	-	-	-	-	檜川支所管理運営事業	地域振興課	-	-	-	-	-	-	-	包括	10	3	2	・第1次査定のとおり実施すること。
15	C	7	1	2	北小野老人福祉センター運営費	長寿課	③	③	②	B	現状維持	現状維持	⑤	C	7	1	2	ふれあいセンターへの機能集約や施設の老朽化に伴う維持管理費の増加を鑑み、施設の廃止時期について検討を進めること。
16	C	8	1	1	後期高齢者等保健対策事業	健康づくり課	③	②	②	B	拡充	現状維持	②	C	8	1	1	・第1次評価どおり実施すること。 ・生活習慣病の重症化予防や医療費増加の抑制に向け、国保データベースシステムなどのデータ活用・分析をすること。
17	C	8	1	2	健康増進事業	健康づくり課	③	②	②	C	現状維持	縮小	③	C	8	1	2	・第1次評価のとおり実施すること。
18	C	8	1	2	感染症予防等対策費	健康づくり課	②	②	③	C	拡充	拡大	①	C	8	1	2	・第1次評価のとおり実施すること。
19	C	8	2	1	高齢者等生活支援事業	長寿課	②	②	③	C	拡充	拡大	①	C	8	2	1	・成年後見制度中核機関では、制度の周知、相談体制の充実を図り、制度に対する需要の掘り起こしに努めること。
20	-	-	-	-	介護人材確保促進事業	長寿課	-	-	-	-	-	-	-	C	8	2	1	・介護人材確保に向け、あらゆる手段を講じること。 ・外国人材の受入れに向け、関係機関や実績のある市内事業者等と連携し、体制の整備を進めること。
21	C	8	2	3	地域医療推進事業	健康づくり課	③	②	②	C	現状維持	縮小	③	C	8	2	3	檜川地区の地域医療確保に向け、引き続き地区や関係機関との協議に努めること。
22	B	3	1	1	基幹産業強化支援事業 →地域企業経営革新プロジェクト推進事業	産業政策課	④	②	③	C	拡充	現状維持	④	B	3	1	1	・第1次評価のとおり実施すること。
23	B	3	1	2	企業立地促進事業	産業政策課	③	②	③	C	拡充	拡大	①	B	3	1	2	・工業用適地調査は、都市計画法や農村産業法などを良く研究し、長期スパンで効果的な方法を検討すること。 ・サテライトオフィス支援は、状況を見ながら実態のニーズ等に合わせた制度設計を行うこと。
24	B	3	2	1	農業再生推進事業	農政課	③	③	②	B	拡充	現状維持	②	B	3	2	1	・第1次評価のとおり実施すること。
25	B	3	2	2	木曾漆器振興事業	産業政策課	③	②	②	C	拡充	拡大	①	B	3	2	2	・地場産センターにおける店舗販売事業は、収益回復に積極的に行動できる人材等を確保し、集中的に財団の経営改革努力を支援すること。あわせて、持続的な木曾漆器振興及び販売・誘客ができるように、今後の組織、人員体制の在り方を検討すること。
26	B	3	2	2	木曾漆器振興事業(施設改修)	産業政策課	③	②	③	C	拡充	拡大	①	B	3	2	2	・地場産業振興センターの改修工事は、休業期間の短縮や効率性を考慮して、リフォーム改修及び什器備品購入についても令和3年度に一体的に実施すること。
27	B	3	3	1	土地改良事業	農政課	③	②	②	C	現状維持	縮小	③	B	3	3	1	・第1次査定のとおり実施すること。太田井堰バイパス事業は、実施設計の中でルート及び事業内容をしっかり精査をして進めること。

No.	第2期中期戦略				事務事業名	担当課	評価の視点			総合評価	今後の方向性			第3期中期戦略				理事者評価コメント
	基本戦略	プロジェクト	施策	取組			妥当性	有効性	効率性		成果	コスト	記号	基本戦略	プロジェクト	施策	取組	
28	B	3	3	3	ため池耐震化事業	農政課	③	②	②	C	現状維持	縮小	③	B	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ため池耐震調査は、全額国補助金による対応が見込まれることとなったため、年2件分の計上とすること。</li> <li>町村大沢ため池は、地域主体となって広場整備ができるよう調整を行うこと。</li> </ul>
29	B	4	1	1	観光振興事業	観光課	③	②	③	C	拡充	拡大	①	B	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光協会については、体制強化と地域資源の活用を進め、自立化の促進を図ること。</li> <li>観光産業振興負担金は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、状況に最適な対応を行うこと。</li> </ul>
30	B	5	2	1	森林再生林業振興事業	森林課	③	②	③	C	拡充	拡大	①	B	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>林政アドバイザーに係る業務は、森林公社等との連携を十分に図って対応すること。</li> </ul>
31	B	5	2	1	森林活用推進事業(森林情報整備・木材活用)	森林課	③	②	③	C	拡充	縮小	④	B	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次評価のとおり実施すること。</li> </ul>
32	B	5	2	2	木質バイオマス地域循環システム形成事業	FPプロジェクト	③	③	③	A	現状維持	現状維持	⑤	B	5	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次評価のとおり、オガコ確保の調整ができたうえで、今後の事業検討を行うこと。</li> </ul>
33	包括	9	1	2	地域産品ブランド化事業(外部コミュニケーション)	観光課	③	②	②	C	拡充	縮小	④	包括	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次評価のとおり実施すること。</li> </ul>
34	-	-	-	-	野村桔梗ヶ原土地区画整理事業	都市計画課	-	-	-	-	-	-	-	B	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次査定のとおり実施すること。</li> </ul>
35	B	6	2	1	道路施設長寿命化改修事業	建設課	②	①	③	C	拡充	拡大	①	B	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良井停車場線は、市随一の観光地のため、景観に十分配慮した舗装修繕を行うこと。</li> </ul>
36	B	6	2	4	小坂田公園再整備事業	都市計画課	②	②	③	C	拡充	拡大	①	B	6	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次査定のとおり実施すること。</li> </ul>
37	B	6	3	2	輸送対策事業	都市計画課	②	②	①	C	拡充	拡大	①	B	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIオンデマンドバス実証実験は、現行の地域振興バス利用者にも十分に周知して実施し、利便性低下とまらない運行方法等を検討するなど、必要性及び有効性を十分検証すること。</li> <li>地域振興バスの長距離路線についても、ダウンサイジングや速達性の高い便を創設するなど、見直しを図ること。</li> </ul>
38	B	6	3	2	都市計画道路整備事業	都市計画課	②	②	③	C	拡充	拡大	①	B	6	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次査定のとおり、野村桔梗ヶ原土地区画整理事業エリアの整備を最優先に事業を進めること。</li> </ul>
39	B	6	3	2	歩道整備事業	建設課	②	①	③	C	拡充	拡大	①	B	6	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次査定のとおり実施すること。</li> </ul>
40	包括	9	2	2	空き家対策事業(空き家利活用)	建築住宅課	③	②	③	C	拡充	拡大	①	B	6	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体補助金は不動産の流動化効果が高いため、居住誘導区域に対するインセンティブとして、時限的に上乘せ補助等を実施できるよう、早急に検討を行うこと。</li> </ul>

No.	第2期中期戦略				事務事業名	担当課	評価の視点			総合評価	今後の方向性			第3期中期戦略				理事者評価コメント
	基本戦略	プロジェクト	施策	取組			妥当性	有効性	効率性		成果	コスト	記号	基本戦略	プロジェクト	施策	取組	
41	-	-	-	-	幹線道路整備事業	建設課	-	-	-	-	-	-	B	6	3	2	・宗賀中央保育園国道取付道路は、国道部に関する国の事業検討状況を踏まえてスケジュールを立てるとともに、道路構成等は地元と十分に協議すること。	
42	-	-	-	-	文化財保存活用計画策定事業	社会教育課	-	-	-	-	-	-	B	4	1	2	・第1次評価のとおり実施すること。	
43	B	4	2	2	全国短歌フォーラム事業	社会教育課	②	②	③	C	拡充	現状維持	②	B	4	2	1	・短歌フォーラムの全体事業費が高額であるため、開催方法の見直しを行い事業費の縮小等に努めること。
44	-	-	-	-	平出博物館建替事業	社会教育課	-	-	-	-	-	-	B	4	2	1	・新設博物館の建設予定地は、平出遺跡公園隣接地とし、床面積は、2,000㎡以内として事業を進めること。	
45	-	-	-	-	(仮)自然博物館整備事業	社会教育課	-	-	-	-	-	-	B	4	2	1	・自然博物館は平出博物館との併設を行わないこととする。 ・自然博物館の移設先は、複数の候補地を検討し、最善の場所を選定すること。 ・施設規模は必要最低限とし、ランニングコストを抑えられるようにすること。	
46	B	4	2	3	総合体育館運営事業	スポーツ推進課	④	④	④	A	拡充	拡大	①	B	4	2	2	・総合体育館の開館式典とイベント計画については、開館初年度は提案どおりの実施を認める。令和4年度以降は実施規模を縮小し実施すること。 ・ネーミングライツ料を活用し、トップアスリートとの触れ合いの場をつくるなど、子ども達に夢を持ってもらえる事業を実施すること。
47	包括	10	2	1	市民交流センター管理諸経費(施設改修)	交流支援課	④	③	③	B	拡充	拡大	①	包括	10	2	1	・第1次査定のとおり実施すること。
48	包括	10	2	2	本の寺子屋推進事業	図書館	③	③	③	A	拡充	拡大	①	包括	10	2	2	・第1次評価のとおり実施すること。
49	その他	-	-	-	体育施設整備事業	スポーツ推進課	-	-	-	-	-	-	その他	-	-	-	-	・第1次査定のとおり、中央スポーツ公園管理棟の改修方法等については、塩尻児童館整備と併せて敷地一体の活用方法の中で検討すること。 ・体育施設については、老朽化している施設が多いため、修繕計画を今年度中に作成すること。
50	A	1	2	1	家庭支援推進事業	家庭支援課	③	②	②	C	拡充	拡大	①	A	1	3	2	・相談支援システムを活用して家庭ごとの情報をケース化し、関係課で総合的に支援していく体制を構築すること。 ・本事業の推進には、専門職やマネジメントできる人材が必要である。新組織が必要となる人員及び配置について、しっかり検証すること。
51	A	1	2	1	こどもの未来応援事業	家庭支援課	③	②	④	C	拡充	拡大	①	A	1	3	2	・学習・生活支援事業への組替要求を認めるので、研究やトライをして、全ての子どもがボトムアップできる塩尻モデルの構築を目指すこと。教室型学習支援は、GIGAスクールによるタブレット端末や学習支援アプリの活用を含めて、実施方法などを予算編成までに精査すること。 ・本事業の推進には、現場で課題解決やマネジメントを行い、行政とのつなぎ役になる職員が必要である。子どもの貧困対策ケースワーカーについて、勤務時間や業務内容など予算編成までに精査すること。

No.	第2期中期戦略				事務事業名	担当課	評価の視点			総合評価	今後の方向性			第3期中期戦略				理事者評価コメント
	基本戦略	プロジェクト	施策	取組			妥当性	有効性	効率性		成果	コスト	記号	基本戦略	プロジェクト	施策	取組	
52	A	1	3	1	保育所運営費(保育園ICT推進事業)	こども課	-	-	-	-	-	-	A	1	2	1	・第1次評価のとおり実施すること。	
53	A	1	3	1	育児支援推進事業	こども課	②	②	③	C	拡充	拡大	①	A	1	2	1	・第1次評価のとおり実施すること。
54	A	1	3	1	保育園施設リニューアル事業(保育園大規模修繕事業)	教育総務課	③	①	③	C	拡充	拡大	①	A	1	2	1	・第1次査定のとおり実施すること。
55	-	-	-	-	塩尻児童館建設事業	教育総務課	-	-	-	-	-	-	-	A	1	2	2	・第1次査定のとおり、中央スポーツ公園の在り方を含めて周辺公共施設との効果的な連携が実現できるよう、設置場所や建設手法等について検討を行うこと。
56	-	-	-	-	児童館大規模修繕事業	教育総務課	-	-	-	-	-	-	-	A	1	2	2	・第1次査定のとおり実施すること。
57	A	2	1	1	教育センター情報教育推進費	教育総務課	③	①	③	C	拡充	拡大	①	A	2	1	1	・教育DXの将来構想は、教職員全員が共有し、目的意識を持てる構想となるよう策定を進めこと。
58	-	-	-	-	GiGAスクール推進事業(小中学校)	教育総務課	-	-	-	-	-	-	-	A	2	2	2	・第1次評価のとおり実施すること。
59	A	2	2	2	義務教育学校整備事業	教育総務課	③	①	③	C	拡充	拡大	①	A	2	2	2	・第1次査定のとおり実施すること。
60	-	-	-	-	小学校増築事業	教育総務課	-	-	-	-	-	-	-	A	2	2	2	・第1次査定のとおり実施すること。
61	-	-	-	-	小学校長寿命化改良事業	教育総務課	-	-	-	-	-	-	-	A	2	2	2	・児童数、教室数の推移などを踏まえ、工事内容の精査や事業費の平準化に努め、計画的に事業を実施すること。
62	-	-	-	-	中学校トイレ改修事業	教育総務課	-	-	-	-	-	-	-	A	2	2	2	・第1次査定のとおり実施すること。
63	-	-	-	-	中学校長寿命化改良事業	教育総務課	-	-	-	-	-	-	-	A	2	2	2	・生徒数、教室数の推移などを踏まえ、工事内容の精査や事業費の平準化に努め、計画的に事業を実施すること。
64	B	6	1	3	雨水幹線整備事業	下水道課	④	③	④	A	拡充	拡大	①	B	6	1	3	・第1次査定のとおり実施すること。
65	B	6	1	4	上水道施設耐震化等推進事業	上水道課	④	④	③	A	拡充	拡大	①	B	6	1	4	・第1次査定のとおり実施すること。必要最低限の自己水源を確保できるよう、水利権の調整や施設規模の調整を進めること。
66	B	6	2	2	上水道施設整備事業(上西条浄水場再構築事業)	上水道課	③	③	③	A	拡充	拡大	①	B	6	2	2	・第1次査定のとおり実施すること。
67	B	6	2	2	下水道ストックマネジメント事業	下水道課	④	④	④	A	拡充	拡大	①	B	6	2	2	・第1次査定のとおり実施すること。